【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2003-6876(P2003-6876A)
【公開日】平成15年1月10日(2003.1.10)
【出願番号】特願2001-230770(P2001-230770)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　 7/007
　Ｇ０６Ｆ　12/00
　Ｇ０６Ｆ　12/16
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｇ１１Ｂ　20/12
　Ｇ１１Ｂ　20/18
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　 7/007
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４２Ｍ
　Ｇ０６Ｆ　12/16　　３１０Ａ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　　Ｈ
　Ｇ１１Ｂ　20/12
　Ｇ１１Ｂ　20/18　　５１２Ｚ
　Ｇ１１Ｂ　20/18　　５７２Ｃ
　Ｇ１１Ｂ　20/18　　５７２Ｆ
　Ｇ１１Ｂ　20/18　　５７４Ｅ
　Ｇ１１Ｂ　20/18　　５７６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月24日(2004.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、記録不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記アドレス番号を表す符号語と該アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号が不整合であることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項２】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、記録不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記物理アドレスデータの表すアドレス番号が、前記制限付きブロックのアドレス番号とは異なっていることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項３】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、記録不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも記録不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項４】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、記録不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい５１３個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも記録不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項５】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、記録不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記アドレス番号のうち最も大きい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも記録不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項６】
上記情報記録媒体上の上記制限付ブロックの総数を、欠陥管理表に登録可能な記録ブロックの総数よりも多くしたことを特徴とする請求項１乃至５何れかに記載の情報記録媒体。
【請求項７】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、再生不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記アドレス番号を表す符号語と該アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号が不整合であることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項８】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、再生不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記物理アドレスデータの表すアドレス番号が、前記制限付きブロックのアドレス番号とは異なっていることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項９】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、再生不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも再生不

能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１０】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、再生不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい５１３個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも再生不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１１】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、再生不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記アドレス番号のうち最も大きい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくとも再生不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１２】
上記情報記録媒体上の上記制限付ブロックの総数を、欠陥管理表に登録可能な記録ブロックの総数よりも多くしたことを特徴とする請求項７乃至１１何れかに記載の情報記録媒体。
【請求項１３】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、アクセス不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記アドレス番号を表す符号語と該アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号が不整合であることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１４】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、アクセス不能な制限付ブロックであり、
前記情報記録媒体は、アドレス番号を表す符号と前記アドレス番号の正当性を検証するアドレス誤り検出符号とから構成される物理アドレスデータが配置され、前記制限付きブロックは、前記物理アドレスデータの表すアドレス番号が、前記制限付きブロックのアドレス番号とは異なっていることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１５】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、アクセス不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、
前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくともアクセス不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１６】
２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、アクセス不能な制限付ブロックであり、
前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、

前記ユーザセクタは独立したアドレス番号を持ち、該アドレス番号のうち最も小さい５１３個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくともアクセス不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項１７】

２ブロック以上の独立に記録再生の可能なユーザ記録ブロックをもつ情報記録媒体であって、該ユーザ記録ブロックのうち、１ブロック以上が、アクセス不能な制限付ブロックであり、

前記ユーザ記録ブロックは複数のユーザセクタからなる誤り訂正符号ブロックであり、

前記アドレス番号のうち最も大きい２５７個の番号を持つユーザセクタの属するすべてのユーザ記録ブロックが少なくともアクセス不能な制限付ブロックであることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項１８】

上記情報記録媒体上の上記制限付ブロックの総数を、欠陥管理表に登録可能な記録ブロックの総数よりも多くしたことを特徴とする請求項１３乃至１７何れかに記載の情報記録媒体。